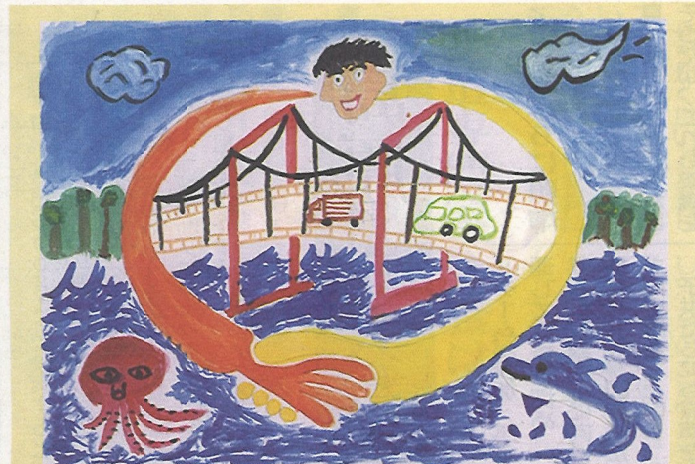


忘れない 海峡横断プロジェクト 島原・天草・長島 絵画コンテスト



(7面から続く)
熱心な活動を続けてい
る島原・天草・長島架橋
建設促進協議会。架橋の

将来を担う子供たちに焦
点を当てた動きが特徴
で、中でもユニークなの
が絵画コンテストだ。29

年度の最優秀賞作品から
3点を紹介する。
いずれも、橋への夢が
あふれている。逆に言え

夢を捨てたら、もはや技術者ではない

ば、橋が子供たちの夢心
をかき立てている。橋
は、そうした存在だ。
90年に「青函連絡橋の
夢検証」を書いた大橋武

氏の詩(本紙10月15日号
掲載の一部を再掲する。
「技術は夢を現実にする
力を持っている」
「技術者は夢ビジネス

の中で生きている。いや
生かされている」
「技術者が夢を捨てた
ら、もはや技術者ではな
い」



橋に咲く

「フィリピンでやりが
いのある仕事に就け、さ
らに日本にも来られた。
そのことに感謝しなが
ら、毎日、一生懸命に取
り組んでいます」
2005年、マニラに
あるフィリピン工科大学



**国境超えて夢広がる
補修技術設計**
技術部主課 ヒメッセ・エイプリル・ローズさん
(州立)を卒業。日系の
ハウスメーカーに就職
し、AUTOCADを使っ
た図面作成の仕事に従
事。仕事の合間に大学

4年ほど前から補修技
術設計の仕事を手伝い、
日本から送られてきた写
真データから、画像処理
でコンクリートのひび割
れや損傷を図化する業務
を行ってきた。
今年9月、自ら就労ビ
ザを取得し補修技術設計
の社員として来日した。
仕事の内容はフィリピン
にいた時と同じだが、今
は日本の社員と一緒に働
き、現場にも同行するこ
とで、仕事の幅や知識が
格段に上がってきたとい
う。「毎日、学び、新た
な発見をしながら、充実

右「家族といっしょ
に」の橋 長崎県 南
島原市立小林小学校2年
宮崎美月さん
左「ゆめの橋」熊本
県 上天草市立教員小
学(学年は当時)

東京・銀座の路地に
面して、「卯波」とい
う小料理屋があった。
10人も座れないカウ
ンターと、奥の小上が
り。刺身は隣の魚屋か
ら運ばれた。壁の短冊
には、折々の句。かが
いしく動く白い割烹着
が似合うのだった。

ゆく年を 橋すたすと
渡りけり
鈴木真砂女



橋の未来を守る

我が社には、世界に誇る凄ワザがあります!

CABOCON工法 (炭素繊維集成板補強工)



CABOTEC

株式会社カボテック

〒779-1101 徳島県阿南市羽ノ浦町中庄鴻ノ袖 35 番地 7
TEL 0884-24-8415 FAX 0884-24-8414
http://cabotec.net E-mail: info@cabotec.net

